

令和 7 年 度
事業報告書

(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日)

学校法人 尾張学園

目 次

学園の沿革

1 学校法人の概要

1. 設置する学校及び入学定員の状況
2. 設置する学校の生徒数の推移
3. 設置する学校の教職員数の推移
4. 役員の概要

2 事業の概要

1. 各校の概要
 - (1) 名古屋大谷高等学校
 - (2) 豊田大谷高等学校
2. 令和7年度 特別事業の概要

3 財務の概要

1. 貸借対照表
2. 事業活動収支計算書
3. 資金収支計算書
4. 財産目録

学 園 の 沿 革

- 文政 10 年 (1827 年) 東本願寺掛所 (名古屋別院) に隠蔵長屋を創設
- 明治 5 年 講究所と改称
- 9 年 尾張小教校となる
- 16 年 尾張教校と改称
- 20 年 大谷派普通学校と改称
- 27 年 尾張中学寮となる
- 29 年 真宗尾張中学と改称
- 41 年 私立尾張中学校として文部省認可
- 昭和 11 年 瑞穂区高田町 (現在地) に移転
- 23 年 学制改革により新制高校となる
尾張高等学校設置許可
- 26 年 学校法人尾張学園組織変更認可
- 30 年 商業科設置
- 38 年 洗心館 (体育館兼講堂) 竣工
- 40 年 NHK 学園協力校となる
- 49 年 本館 (現管理部門及び 30 教室) 竣工
西館 (旧本館) 特別教室棟として改修
- 52 年 正道館 (武道館) 竣工
- 53 年 創立 150 周年記念式典挙行
- 58 年 東館竣工
- 59 年 尾張高等学校を名古屋大谷高等学校と改称
豊田大谷分校開設
- 60 年 名古屋大谷高等学校校地を名古屋別院より無償譲渡される
- 61 年 豊田大谷高等学校開設
- 62 年 豊田大谷高校 豊徳館 (体育館兼講堂) 竣工
- 平成 2 年 成績管理コンピューターシステム導入
- 5 年 豊田大谷中学校開設
豊田大谷高等学校創立 10 周年記念式典挙行
- 9 年 名古屋大谷高校校訓を「人と生まれ、人になる」に変更実施
- 平成 11 年 愛知新城大谷短期大学 社会福祉学科開設
名古屋大谷高校 男女共学制に移行及び福祉医療進学コース新設
創立 170 周年記念式典挙行
- 平成 16 年 短期大学を愛知新城大谷大学短期大学部 介護福祉学科と名称変更
愛知新城大谷大学 社会福祉学部を開設
- 平成 17 年 豊田大谷中学校募集停止 (平成 19 年度より休校)
- 平成 21 年 愛知新城大谷大学・同短期大学部募集停止を届出
- 平成 23 年 愛知新城大谷大学短期大学部の廃止の認可
- 平成 25 年 豊田大谷中学校の廃止の認可
愛知新城大谷大学の廃止の認可
- 平成 26 年 名古屋大谷高等学校総合体育館 (洗心館) 竣工
- 平成 27 年 学園情報システム (教務・事務システム) 刷新
- 平成 28 年 名古屋大谷高等学校実習棟竣工
- 平成 29 年 創立 190 周年記念広告を中日新聞に掲載
- 平成 31 年 豊田大谷高等学校創立 35 周年記念事業を実施
- (令和元年)
- 令和 3 年 豊田大谷高等学校第二体育館竣工
- 令和 6 年 豊田大谷高等学校創立 40 周年記念事業を実施

1 学校法人の概要

学校法人尾張学園は、教育基本法及び学校教育法に従って、建学の精神である「宗祖親鸞聖人のみ教え」と「真宗の教義」に基づいた学校教育を行い、「いのちを大切にし、真実に生きる人間形成」を目指しています。

この目的を達成するために設置された本学園の令和7年度における概要は、以下のとおりです。

1. 設置する学校及び入学定員の状況

(令和7年5月1日現在)

校 名	学 科	コース	学則定員 (令和5年度)
名古屋大谷高等学校	普通科	特別進学コース 特別選抜コース 福祉医療進学コース 文理進学コース	450
	商業科		90
豊田大谷高等学校	普通科	特別選抜コース 人間福祉コース 情報メディアコース 文理コース 生活文化コース	240
合 計 (収容定員合計)	—	—	780 (2,340)

2. 設置する学校の生徒数の推移

(令和7年5月1日現在)

校 名	1 年	2 年	3 年	合 計	6 年 度	5 年 度
名古屋校	5 0 6	5 7 7	6 1 8	1, 7 0 1	1, 669	1, 552
豊 田 校	2 2 1	2 1 3	2 4 0	6 7 4	750	881
計	7 2 7	7 9 0	8 5 8	2, 3 7 5	2, 419	2, 433

3. 設置する学校の教職員数の推移

【令和7年度】

(令和7年5月1日現在)

校 名	教 員 専任・常勤	事務・用務 専任・常勤	合 計 専任・常勤
名古屋大谷高等学校	9 4	2 1	1 1 5
豊田大谷高等学校	5 2	1 2	6 4
法 人	—	1	1
合 計	1 4 6	3 4	1 8 0

【令和6年度】

(令和6年5月1日現在)

校 名	教 員 専任・常勤	事務・用務 専任・常勤	合 計 専任・常勤
名古屋大谷高等学校	9 2	2 1	1 1 3
豊田大谷高等学校	5 2	1 2	6 4
法 人	—	1	1
合 計	1 4 4	3 4	1 7 8

4. 役員の概要

令和7年4月1日～令和8年3月31日

【理事】 10名（理事定数 10名）

寄附行為 第7条（選任基準）

- (1) 校長のうちから理事会において選任した者 2名
- (2) 前号に規定するもののほか、理事会において選任した者 8名

役 名	氏 名	（寄付行為第7条選任基準）
理 事 長	荒山 信	（2）※R7.8.5 就任
理 事 長	伊藤 修	（2）※R7.8.5 退任
常任理事	安田 雅	（2）
常任理事	英 信哉	（2）
常任理事	梶浦 伸祐	（1）
常任理事	加藤 聡	（1）
常任理事	大矢 俊宏	（2）※R7.6.20 就任
常任理事	川原 眞	（2）※R7.6.20 退任
理 事	藤原 正雄	（2）※R7.11.1 就任
理 事	富田 泰成	（2）※R7.10.31 退任
理 事	飯田 慎也	（2）
理 事	松山 純成	（2）
理 事	目黒 達哉	（2）※R7.11.1 就任
理 事	武智 光信	（2）※R7.10.31 退任

【監 事】 2名（監事定数 2名）

寄附行為 第22条（選任基準）

評議員会の決議によって選任。

役 名	氏 名	（寄付行為第22条選任基準）
監 事	錦 秀見	
監 事	山口 和彦	

【評 議 員】 18名（評議員定数 18名）

寄付行為 第31条（選任基準）

- （１）この法人の職員のうちから選任した者 4名
- （２）この法人の設置する学校を卒業した者で年齢25歳以上の者のうちから選任した者 6名
- （３）学識経験者のうちから選任した者 8名

役 名	氏 名	（寄付行為第31条選任基準）
評 議 員	水野 進	（２）
	高橋 規嘉	（２）
	服部 富雄	（２）
	浅野 晃	（２）
	川井 暢	（２）
	鈴木陽一郎	（２）
	中村 亮	（３）
	栗原 賢治	（３）※R7.8.5 就任
	佐藤 哲也	（３）※R7.8.5 退任
	森 智見	（３）
	林 晃雄	（３）
	泉 敬祐	（３）
	横田 孝憲	（３）※R7.6.20 就任
	清澤 雅章	（３）※R7.6.20 退任
	小栗 秀一	（３）
	鈴木 三朗	（３）※R7.11.1 就任
	目黒 達哉	（２）※R7.10.31 退任
	奥田 健次	（１）※R8.4.1 就任
	古旗 雅彦	（１）※R8.3.31 退任
	山本 真司	（１）
	上原 正也	（１）
	植田 信子	（１）※R8.4.1 就任
	藤井 良昭	（１）※R8.3.31 退任

※上記以外に、評議員より選出した理事である、飯田慎也、松山純成、武智光信の3名が、私立学校法の改正による評議員・理事の兼務解消のため、令和7年6月20日で評議員を退任。

5. 役員賠償責任保険契約の状況

- ・ 保険会社：A I G 損害保険株式会社
- ・ 被保険者：理事、監事、評議員および従業員
- ・ 支払限度額：1 億円
- ・ 保険期間：令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日まで

6. 会計監査人の概要

会計監査人は設置していない。

7. 理事選任機関の概要

- ・ 「この法人の理事選任機関は、理事会とする。」（寄附行為第 6 条第 1 項）
- ・ 「理事選任機関の構成員は、全ての理事とする。」（寄附行為第 6 条第 2 項）

2 事業の概要

1. 各校の概要

【建学の精神】

宗祖 親鸞聖人のみ教えに基づき、いのちを大切にし、真実に生きる人間形成を目指す。

(1) 名古屋大谷高等学校

校 訓 「人と生まれ 人になる」

【教育方針およびめざす生徒像】

建学の精神の顕現化をめざし、校訓「人と生まれ 人になる」のもと、「いのち」を大切にし、真実に生きる人間形成をめざして、以下の教育方針を掲げる。

◆めざす学校像

- ① 校訓の顕現化～校訓に基づく校内外活動の実践～
- ② 朋に歩み続ける宗門校としての特色ある学校
- ③ いただいた「いのち」に気づく学校

◆めざす生徒像

- ① 社会性を身につけた生徒
- ② ひとを思いやる心をもった生徒
- ③ あいさつがきちんと言える生徒

◆めざす教職員像

- ① 指導の内実を高める～授業で勝負する！～(エキサイティングで楽しい授業を実践する)
- ② 笑顔をひきだす心遣い
- ③ 建学の精神を自らのものとする
- ④ 生徒と朋に学び続ける

(2) 豊田大谷高等学校

校 訓 「命尊し」

◆めざす学校像

- ① 生まれた意義と、生きる喜びを見つける学びが教育の根本にある学校。
- ② 世の中の変化に柔軟に対応し、確かな未来を切り拓く力を持った人間を育成する学校。
- ③ 保護者や地域から信頼され、受験生の期待を集める志願者が多い学校。

◆育てたい生徒像

- ① 自己を見つめ、冷静に考えることができる生徒。
- ② 他社の立場を理解できる思いやりのある生徒。
- ③ 困難に直面しても最後までやり抜く力がある生徒。
- ④ あいさつや返事がきちんでき、社会性と優れたコミュニケーション能力を持った生徒。
- ⑤ 目的を持ち、状況を判断し、自分の行動に責任が持てる生徒。
- ⑥ 進学やキャリアの目標を実現するための学力と適応力を備えた生徒。

◆理想の教職員像

- ① 生徒のやる気を引き出し、自信を持たせる指導ができる教師。
- ② 生徒に考えさせる指導ができる教師。
- ③ 学園組織の一員としての自覚を持った発言と行動ができる教職員。
- ④ 生徒たちにとって憧れの大人であり社会人
- ⑤ 丁寧で誠実な仕事により生徒や保護者から信頼される教職員。

2. 令和7年度 特別事業の概要

(1) 学園 I C T 教育環境整備推進事業

I C T 環境の安定運用および利便性向上を目的として、名古屋大谷高等学校・豊田大谷高等学校・法人事務局の教職員用の I C T 機器（ノート・タブレットパソコン・ファイルサーバー等）の更新を実施した

- | | |
|-------|--------------------------|
| ①実施時期 | 令和7年7月から令和7年12月 |
| ②事業箇所 | 名古屋大谷高等学校・豊田大谷高等学校・法人事務局 |
| ③予算科目 | 教育研究経費・教育研究用機器備品 |
| ④財 源 | 学園資金 |
| ⑤事業規模 | 95,051千円 |
| ⑥施工業者 | 株式会社中部メディアテック |

(1)貸借対照表

貸借対照表

令和 8年 3月31日

(単位:千円)

資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	(11,783,156)	(11,782,657)	(499)
有 形 固 定 資 産	(8,911,914)	(9,011,306)	(△ 99,392)
土 地	6,718,886	6,718,886	0
建 物	1,953,657	2,105,564	△ 151,907
構 築 物	40,854	52,416	△ 11,562
教 育 研 究 用 機 器 備 品	116,215	57,417	58,798
管 理 用 機 器 備 品	14,985	10,554	4,431
図 書	67,317	66,308	1,009
車 輦	0	161	△ 161
建 設 仮 勘 定	0	0	0
特 定 資 産	(2,675,501)	(2,575,501)	(100,000)
そ の 他 の 固 定 資 産	(195,741)	(195,850)	(△ 109)
流 動 資 産	(1,413,397)	(1,110,062)	(303,335)
現 金 預 金	1,165,074	955,172	209,902
そ の 他 の 流 動 資 産	248,323	154,890	93,433
資 産 の 部 合 計	(13,196,553)	(12,892,719)	(303,834)
負債の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	(213,850)	(244,400)	(△ 30,550)
長 期 借 入 金	213,850	244,400	△ 30,550
流 動 負 債	(627,837)	(369,626)	(258,211)
短 期 借 入 金	30,550	30,550	0
未 払 金	255,678	117,063	138,615
前 受 金	167,500	152,080	15,420
預 り 金	61,136	69,933	△ 8,797
賞 与 引 当 金	112,973	0	112,973
負 債 の 部 合 計	(841,687)	(614,026)	(227,661)
純資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基 本 金	(15,212,034)	(15,093,478)	(118,556)
第 1 号 基 本 金	14,978,533	14,859,977	118,556
第 3 号 基 本 金	75,501	75,501	0
第 4 号 基 本 金	158,000	158,000	0
繰 越 収 支 差 額	(△ 2,857,168)	(△ 2,814,785)	(42,383)
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 2,857,168	△ 2,814,785	42,383
純 資 産 の 部 合 計	(12,354,866)	(12,278,693)	(76,173)
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	(13,196,553)	(12,892,719)	(303,834)

(2)事業活動収支計算書

事業活動収支計算書

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

(単位:千円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		学生生徒等納付金	(988,713)	(991,375)	(△ 2,662)
		手数料	(36,432)	(36,513)	(△ 81)
		寄付金	(109,653)	(109,995)	(△ 342)
		経常費等補助金	(1,257,910)	(1,258,017)	(△ 107)
		付随事業収入	(0)	(0)	(0)
		雑収入	(246,589)	(247,543)	(△ 954)
		教育活動収入計	(2,639,297)	(2,643,443)	(△ 4,146)
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		人件費	(1,917,130)	(1,910,887)	(6,243)
		教育研究経費	(536,747)	(512,397)	(24,350)
		管理経費	(89,517)	(76,527)	(12,990)
		徴収不能額等	(0)	(0)	(0)
		教育活動支出計	(2,543,394)	(2,499,811)	(43,583)
教育活動収支差額		(95,903)	(143,632)	(△ 47,729)	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		受取利息・配当金	(43,946)	(46,089)	(△ 2,143)
		その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)
		教育活動外収入計	(43,946)	(46,089)	(△ 2,143)
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	(1,299)	(1,299)	(0)
		その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)
		教育活動外支出計	(1,299)	(1,299)	(0)
		教育活動外収支差額	(42,647)	(44,790)	(△ 2,143)
	経常収支差額			(138,550)	(188,422)
特別収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	(0)	(0)	(0)
		その他の特別収入	(4,906)	(4,802)	(104)
		特別収入計	(4,906)	(4,802)	(104)
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	(381)	(323)	(58)
		その他の特別支出	(116,733)	(116,728)	(5)
		特別支出計	(117,114)	(117,051)	(63)
		特別収支差額	(△ 112,208)	(△ 112,249)	(41)
[予備費]			(0) 10,000		10,000
基本金組入前当年度収支差額			16,342	76,173	△ 59,831
基本金組入額			△ 133,000	△ 118,556	△ 14,444
当年度収支差額			(△ 116,658)	(△ 42,383)	(74,275)
前年度繰越収支差額			△ 2,856,210	△ 2,814,785	41,425
基本金取崩額			0	0	0
翌年度繰越収支差額			(△ 2,972,868)	(△ 2,857,168)	(△ 115,700)
(参考)					
事業活動収入計			2,688,149	2,694,334	△ 6,185
事業活動支出計			2,671,807	2,618,161	53,646

(3)資金収支計算書

資 金 収 支 計 算 書

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月31日まで

(単位:千円)

収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	(988,713)	(991,375)	(△ 2,662)
手 数 料 収 入	(36,432)	(36,514)	(△ 82)
寄 付 金 収 入	(109,653)	(109,895)	(△ 242)
補 助 金 収 入	(1,260,309)	(1,260,416)	(△ 107)
資 産 売 却 収 入	(250,000)	(250,000)	(0)
付 随 事 業 ・ 収 益 事 業 収 入	(0)	(0)	(0)
受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	(43,946)	(46,089)	(△ 2,143)
雑 収 入	(246,589)	(247,543)	(△ 954)
借 入 金 等 収 入	(0)	(0)	(0)
前 受 金 収 入	(161,260)	(167,500)	(△ 6,240)
そ の 他 の 収 入	(232,602)	(244,150)	(△ 11,548)
資 金 収 入 調 整 勘 定	(△ 385,468)	(△ 385,506)	(38)
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	(955,172)	(955,172)	
収 入 の 部 合 計	(3,899,208)	(3,923,148)	(△ 23,940)
支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	(1,920,863)	(1,914,642)	(6,221)
教 育 研 究 経 費 支 出	(336,747)	(317,548)	(19,199)
管 理 経 費 支 出	(83,477)	(71,402)	(12,075)
借 入 金 等 利 息 支 出	(1,299)	(1,298)	(1)
借 入 金 等 返 済 支 出	(30,550)	(30,550)	(0)
施 設 関 係 支 出	(800)	(0)	(800)
設 備 関 係 支 出	(103,684)	(98,293)	(5,391)
資 産 運 用 支 出	(350,000)	(350,000)	(0)
そ の 他 の 支 出	(234,808)	(228,672)	(6,136)
[予 備 費]	(0) 10,000		10,000
資 金 支 出 調 整 勘 定	(△ 252,729)	(△ 254,331)	(1,602)
翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	1,079,709	1,165,074	△ 85,365
支 出 の 部 合 計	(3,899,208)	(3,923,148)	(△ 23,940)

(4)財産目録

財 産 目 録			
(令和8年3月31日現在)			
1.	資 産 総 額	金	13,196,554 千円
	内 1 基 本 財 産	金	8,914,346 千円
	2 運 用 財 産	金	4,282,208 千円
2.	負 債 総 額	金	728,715 千円
3.	正 味 財 産	金	12,467,839 千円
(一)	資 産		
(1)	基 本 財 産	金	8,914,346 千円
	(イ) 土 地	金	6,718,886 千円
	94,798.81 平方メートル		
	(ロ) 建 物	金	1,953,657 千円
	33,387.61 平方メートル		
	(ハ) 構 築 物	金	40,855 千円
	(ニ) 機 器 備 品	金	131,200 千円
	7,978 点		
	(ホ) 図 書	金	67,317 千円
	53,019 冊		
	(ヘ) そ の 他	金	2,431 千円
(2)	運 用 財 産	金	4,282,208 千円
	(イ) 預 貯 金 ・ 現 金	金	1,165,074 千円
	(ロ) 有 価 証 券	金	193,310 千円
	(ハ) 特 定 資 産	金	2,675,501 千円
	(ニ) 未 収 入 金	金	233,426 千円
	(ホ) 前 払 金	金	14,897 千円
(二)	負 債	金	728,715 千円
(1)	固 定 負 債	金	213,850 千円
	(イ) 長 期 借 入 金	金	213,850 千円
(2)	流 動 負 債	金	514,865 千円
	(イ) 短 期 借 入 金	金	30,550 千円
	(ロ) 前 受 金	金	167,500 千円
	(ハ) 未 払 金	金	255,678 千円
	(ニ) 預 り 金	金	61,137 千円